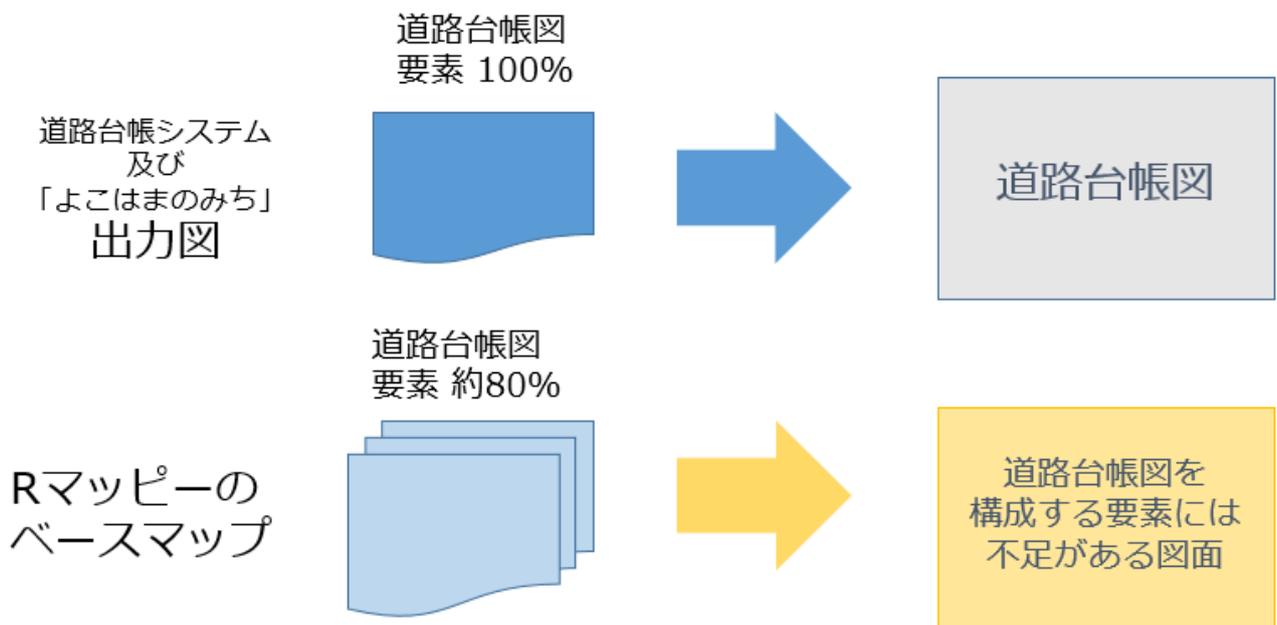


R マップは「道路台帳図」として使用できません

横浜市建築局 都市計画課

令和5年12月に、横浜市行政地図情報提供システムにて「Rマップ」を公開しました。「Rマップ」では、横浜市道路局が管理する「道路台帳図」の主要要素の一部を抽出し、システム上に表示することでベースマップとして使用しています。

抽出している主要データは、道路台帳データからの改変はありませんが、「道路台帳図」を構成する要素としては不足しており、Rマップは「道路台帳図」としては扱えませんので、ご注意ください。(図1)



Rマッパーでは、調査地の位置を特定する際に利用するため、「道路台帳図（区域線図）」には掲載されていない地形図が掲載されており、場所によっては道路区域の中に建築物が入っているように見える箇所があります。

これは、位置情報の精度が大幅に異なっていることに起因します。道路台帳図の担保精度は縮尺 1/500 ですが、地形図の担保精度は縮尺 1/2500 です。（図 2）

さらに、地形図は航空写真から作成されており、現地調査を経て作成されている道路台帳図（区域線図）とはその成り立ちからして異なることも、原因の一つとなっています。（図 3）



図 2 精度誤差発生イメージ図

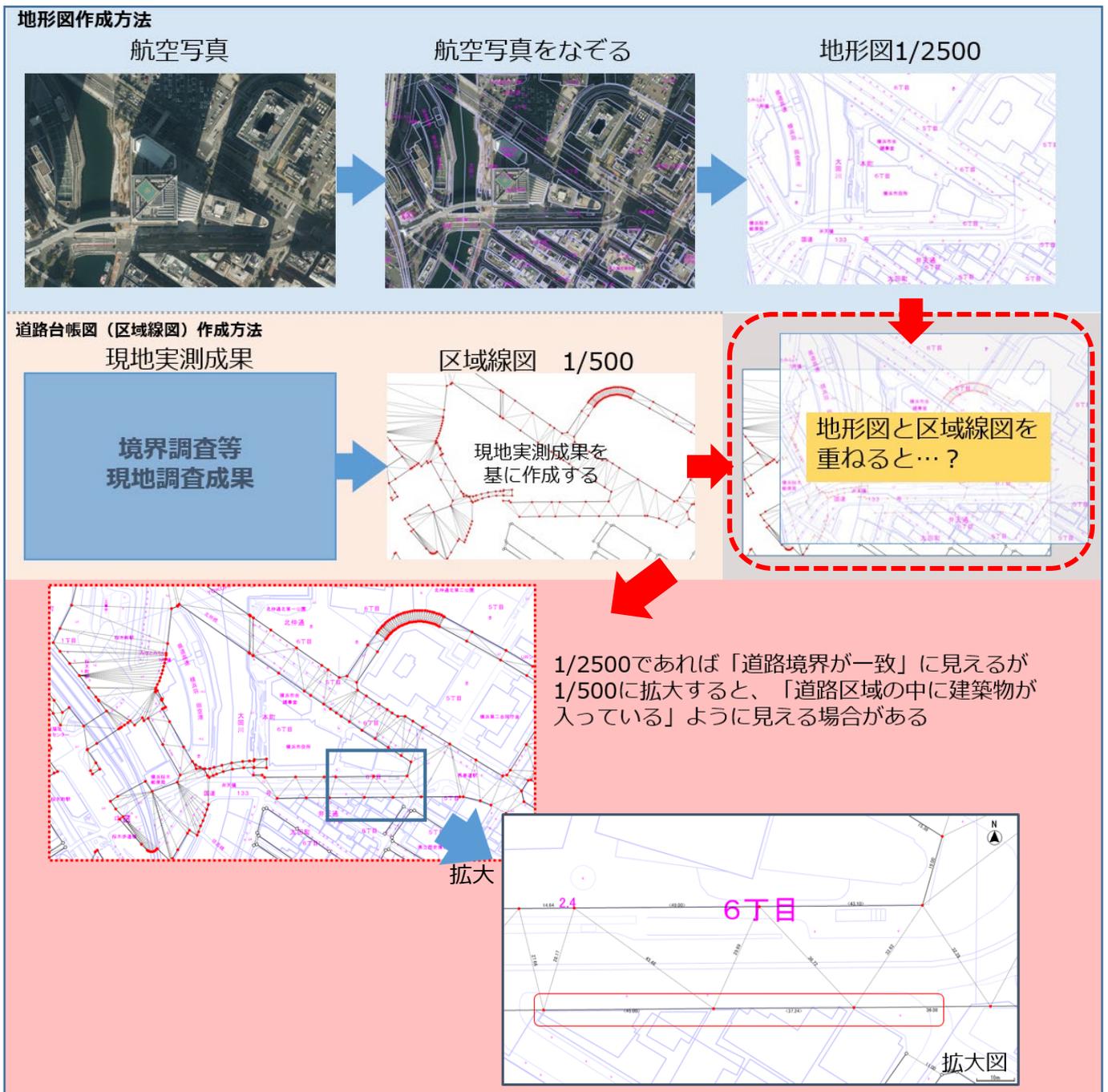


図 3 地形図と区域線図との比較